学校名	村山市立楯岡中学校	実践者	教諭　須貝　勇太

ICT 活用のねらい

・単元テストの採点業務をより正確に効率的に行うとともに，業務時間の短縮をはかる。
・単元における生徒の学習状況を的確に把握することで，補充すべき学習内容を明確にした授業改善や生徒一人ひとりの理解状況に合わせた個別最適化された学習指導を行う。

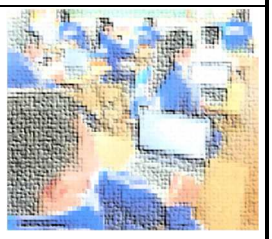
使用機器ソフトコンテンツ

使用機器	ソフトウェア
・PC，iPad，Android タブレットなど (OS：対応ブラウザがサポートしているバージョン)	・Google フォーム（無料） (対応ブラウザ：Chrome，Firefox，IE11，Edge，Safari) ・ClipBordImageAutoSave（無料）(Windows10/8/7)

☑ネットワーク利用　　□校務用サーバ利用　　□その他（　　）

活用の方法（写真等）

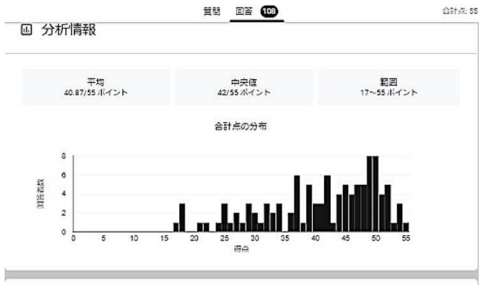
＜どのように使ったのか＞

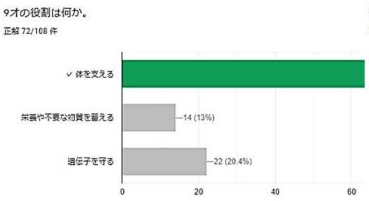


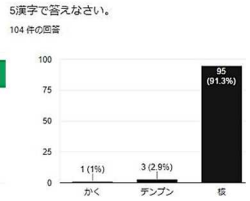
・２年生理科の単元末に実施している単元テストを，Google フォームで作成し，生徒はタブレット PC で受験した。
・生徒には，回答後すぐに誤答した問題や正解，点数を確認させた。
・教師側は，誤答の多い問題や正解の数に関するグラフ，平均点などが概要として分析された情報をすぐに把握できるため，その場で集団に必要な補充すべき学習内容を指導した。
・テスト結果は Google スプレッドシート（エクセルに変換可）にすぐに一覧となるため，業務時間が短縮された分，生徒一人ひとりの理解状況に合わせた学習指導を行った。

＜どのように使うのか＞

・Google フォームでテストを作成するためには，作成者側の Google のアカウントが必要である。
・Google にログインし，フォームのページを開き，フォーム作成画面の上部にある設定ボタンをクリックすると「テスト」を作れるようになり，自動採点まで行えるようになる。※1
・問題の形式に合わせて回答を作成できる。（記述式，選択式，チェックボックスなど）
・問題には，PDF のスナップショットやPrintScreen でキャプチャした画像を挿入することができ，作成する時間が短縮できる。※2
・テストができたら公開 URL をコピーし，生徒に提示する。







活用におけるポイント注意点

執筆者の実績として，誤答しやすい選択肢を考えて問題を作成し，誤答の傾向を分析して学習指導したことで，生徒の学力を向上させることができた。また，採点時間が短縮し，業務負担を軽減することもできた。レディネス調査やアンケート調査にも活用している。

汎用性，安全性，確実性，効率性，操作性の視点で評価して，非常に優れたオンラインサービスといえる。個人情報の取扱いには十分に気を付けて使用すれば，個別最適化された学びを目指す「GIGA スクール構想」の実現やオンライン授業における学習の定着度の見取り，校務改善や働き方改革の実効性に期待できる。

※１　Google ドライブにログインすると，15GB のクラウドストレージや Google ドキュメント（Word に変換可）などを無料で使用することができ，教師間の情報共有にも有効である。
※２　「ClipBordImageAutoSave」を使用することで，クリップボードに入った画像を自動で保存するため，フォームへの挿入が容易にできる。